

# 奇妙な隣人についての調査記録

## ◎見張り結果

- 溪谷の南側に小屋を建て住んでいる。小屋の近くには斧や猟銃、縄梯子<sup>なわばしご</sup>や手押し車が置かれていた
- 昼間のほとんどは、館の様子を監視している
- 時には館のさらに上流にある橋を渡り、溪谷の北側に回って、北側から館を監視しているときもある
- 長い距離を歩いた後は、歩き方が少し不自然になる

## ◎聞き込み結果

- 麓の街で聞き込みしたところ、住み着いた当初、隣人は「俺は館の事件の被害者遺族<sup>いそく</sup>だ」「事件の真相を探っている」と発言していた
- しかし次第に「あの館の地下には悪魔がいる」「俺は悪魔には騙されない」「悪魔に復讐する」と、狂気じみた発言を繰り返すようになった
- 調査したが、隣人の身元は特定できなかった